

## 第3次浜松市障がい者計画について

## 1 主旨

平成29年9月7日開催、第2回障害者施策推進協議会において審議いただいた「第3次浜松市障がい者計画素案（案）第1稿」について、審議における意見を踏まえ、修正を加えた第3次浜松市障がい者計画素案（案）第2稿の報告を行うものです。

## 2 報告資料

- (1) 第3次浜松市障がい者計画素案（案）第2稿概要
- (2) 第3次浜松市障がい者計画素案（案）第1稿に対する浜松市障害者施策推進協議会の意見
- (3) 第3次浜松市障がい者計画素案（案）第2稿

## 3 今後の計画策定スケジュール＜予定＞

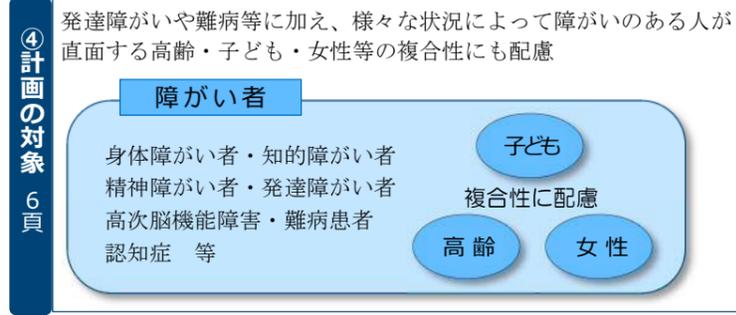
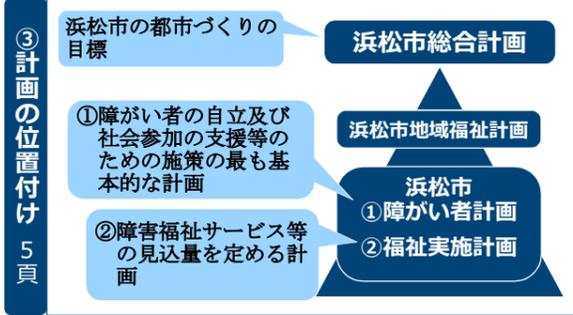
	厚生保健委員会	障害者施策推進協議会	障がい者自立支援協議会等
10月	厚生保健委員会＜10/4＞ 素案(案)報告	第3回＜10/5＞ 素案(案)審議 第4回＜10/26＞ 素案(案)審議	第3回調整会議＜10/2＞ 第1回精神保健福祉審議会＜10/25＞ 素案(案)報告
12月	厚生保健委員会 素案報告		パブリック・コメントの実施 ＜12/15～1/15の予定＞
1月			
2月			第4回調整会議 パブリック・コメント実施報告
3月	厚生保健委員会 最終原案報告	第5回 最終原案審議	第3回当事者部会 第2回精神保健福祉審議会 最終案報告

## ＜参考＞障害者施策推進協議会における審議内容について

- 第3回障害者施策推進協議会 ＜平成29年10月5日（木）13：30～16：30＞
  - ・障がい者計画案について、第2回からの修正内容の報告、再審議
- 第4回障害者施策推進協議会 ＜平成29年10月26日（木）14：00～16：00＞
  - ・障がい者計画（障がい福祉実施計画、障がい児福祉実施計画含む）計画案について、第3回からの修正内容の報告、再審議
- 第5回障害者施策推進協議会 ＜平成30年3月＞
  - ・障がい者計画（障がい福祉実施計画、障がい児福祉実施計画含む）最終原案について審議

# 第3次浜松市障がい者計画素案（案）第2稿概要

- ①基本理念 19頁
  - 支え合いによって、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができるまち
- ②基本目標 20頁
  - I 地域で安心して暮らすための地域社会への理解促進
  - II 自己決定と自己選択の尊重
  - III 地域生活を支えるためのサービス提供基盤のさらなる充実
  - IV ともに支え、ともに暮らす地域でつながる“輪”づくり



⑥課題 11頁

主な内容

- 差別解消・権利擁護の推進
- 防災対策の推進
- 情報アクセシビリティの推進
- 障がいのある子どもへの支援
- 社会参加機会の拡充
- 就労支援の強化
- 多様・重度化・高齢化への対応
- 複合性への配慮

<概要>

- 障がいの重度化・重複化、障がいのある人の高齢化、発達に課題のある子どもの増加、発達障がいや高次脳機能障がい等に対する支援において、サービスの質の高度化・多様化が必要である
- 障がいのある女性や子ども、高齢者等の複合的に困難な状況を踏まえ、介助の際のプライバシーや性的被害の問題など、このような点に配慮したきめ細かな支援が必要である
- ニーズの多様化・高度化に伴い、一人ひとりの意向や心身の状況等に応じたきめ細かな支援、乳幼児期から学齢期、青年期等の各ライフステージに応じた切れ目のない支援が必要である

⑦背景 12頁

○近年の主な障がい福祉施策の動向

- ・障害者権利条約への批准/H26.1 障がい者の権利を実現するための措置等を規定
- ・精神保健福祉法の一部改正/H26.4 施行 保護制度の見直し、医療保護入院の手続きの見直し等
- ・障害者差別解消法の施行/H28.4 差別的取り扱いの禁止、合理的配慮提供義務等
- ・障害者雇用促進法の一部改正/H 28.4 施行 雇用分野での差別の解消、法定雇用率算定基礎に精神障がい者を加える
- ・成年後見制度利用促進法の施行/H 28.5 利用促進のための基本計画の策定等
- ・発達障害者支援法の一部改正/H 28.8 施行 ライフステージを通じた切れ目のない支援、家族も含めたきめ細かな支援の推進、発達障害者支援地域協議会の設置等
- ・障害者総合支援法・児童福祉法の一部改正/H 30.4 施行 自立生活援助、就労定着支援、居宅訪問型児童発達支援の創設等

○国の「障害者基本計画（第4次）」/現在策定中

障がい者の自立及び社会参加の支援等のための施策の最も基本的な計画(複合的困難への配慮、PDCAサイクルの取組みの推進等)

○地域共生社会の実現

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

○選択と集中による予算の重点化

サービスが増加する一方で、本市の障害福祉サービス等関係予算は11年間で2倍以上となっている現状を踏まえ将来にわたり持続可能な障害福祉サービスを実施するため、本市が独自に行う事業については、限られた財源を有効に活用する選択と集中が必要である

(単位:億円)

区分	H19	H29	比率
国	5,380	12,656	2.4倍
障害児給付費	507	1,778	3.5倍
自立支援給付費	4,473	10,391	2.3倍
地域生活支援事業	400	488	1.2倍
浜松市	80.9	187.3	2.3倍
障害児福祉費	6.5	29.5	4.5倍
障害者福祉費	70.0	151.4	2.2倍
地域生活支援事業	4.4	6.4	1.5倍

※区分ごとに端数整理しています

⑧重点施策の取組み 25頁

1 差別の解消・権利擁護の推進

- ①障がいを理由とする差別の解消の推進
- ②成年後見制度利用支援の促進
- ③関係機関との連携による虐待防止の取組み

2 相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実

- ①基幹相談支援事業所の設置と委託相談支援事業所の再編
- ②地域生活支援拠点等の体制整備
- ③相談支援専門員の育成
- ④浜松市障がい者自立支援協議会の効果的な運営

3 地域生活への移行に向けた体制整備

- ①支援体制の整備
- ②個別支援の充実

4 地域における防災対策の推進

- ①福祉避難所の開設・運営マニュアルの見直し
- ②災害時避難行動要支援者名簿の活用
- ③避難支援対策の推進

5 教育機関と連携した子どもと家庭に対する支援体制の強化

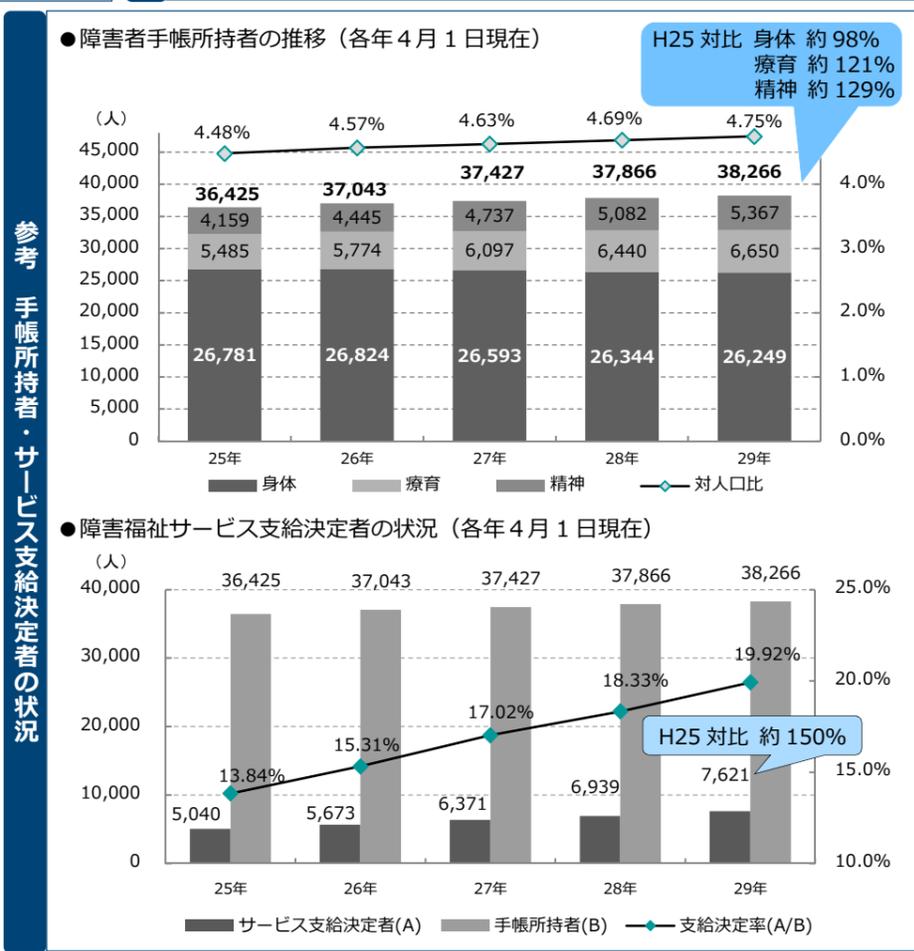
- ①支援する職員等の技術向上
- ②地域における支援の充実
- ③関係機関との連携の強化

<PDCAの実施> ①計画:Plan ②実行:Do ③評価:Check ④改善:Act

1年に1回計画の進捗状況を把握し、障害者施策推進協議会にて評価、意見聴取を行ったうえで公表する

参考

分野別	取組み項目	主な取組み
<b>1 理解促進</b> ○障がいの有無にかかわらず、互いの人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の理念について普及を図る	(1)障がいに対する理解促進 (2)人材育成と活動支援	○手話体験講座/初心者向け手話講座・親子体験手話講座(障害保健福祉課) ○差別解消に向けた啓発・職員研修(障害保健福祉課) ○自閉症・発達障害の啓発(子育て支援課) ○ユニバーサルサービス研修(ユニバーサル社会・男女共同参画推進課)
<b>2 生活支援</b> ○尊厳ある自己決定による地域での暮らしを前提とし、個々のニーズや実態に応じた適切な支援の提供を行う	(1)差別の解消・権利擁護の推進 (2)相談支援体制の充実 (3)地域生活への移行の促進 (4)地域生活支援の充実 (5)経済的な支援	○障害者差別解消支援地域協議会の開催(障害保健福祉課) ○複合性に配慮した虐待防止のための普及啓発活動(障害保健福祉課) ○障がい者自立支援協議会における専門部会の運営(障害保健福祉課) ○地域生活支援拠点等整備による地域で支えるサービス提供体制の構築(障害保健福祉課) ○基幹相談支援事業所の設置(障害保健福祉課) ○共生型サービスの導入の検討(障害保健福祉課、介護保険課)【調整中】
<b>3 保健・医療【第3次計画から新設】</b> ○障がいの早期発見に努めるとともに、身近な地域において、保健・医療・福祉の連携した支援の提供体制の充実を図る	(1)保健・医療、リハビリテーションの充実 (2)精神保健福祉の推進	○重症心身障害児者支援に関する協議の場の設置(障害保健福祉課) ○精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築(障害保健福祉課) ○精神障害者支援地域協議会の設置及び運営(障害保健福祉課) ○小児慢性特定疾病医療の給付、難病患者に対する医療費助成(健康増進課)
<b>4 生活環境</b> ○ユニバーサルデザイン化を推進するとともに、安心して暮らすことができるよう防災対策の充実を図る	(1)福祉のまちづくりの推進 (2)防災対策の推進	○福祉避難所の受け入れ体制の構築(障害保健福祉課) ○防災訓練の共同実施(障害保健福祉課) ○重症心身障害児者支援に関する協議の場の設置(障害保健福祉課)
<b>5 療育・教育</b> ○子どもが夢や希望をもって暮らせる、家庭を含めた支援の充実を図る ○関係機関と連携し、各ライフステージの一貫したきめ細かい支援の実施	(1)早期発見・早期療育の推進 (2)発達支援教育の推進 (3)放課後等の支援の充実 (4)卒業後の自立に向けた支援	○サポートかけはしシートを活用した連続性のある療育の推進(障害保健福祉課) ○「友愛のさと診療所」及び「子どものこころの診療所」の運営(障害保健福祉課) ○特別支援学校生徒の進路相談(障害保健福祉課)
<b>6 雇用・就労</b> ○一人ひとりが働く能力や個性を活かし、生きがいと働きがいのある生活の実現を目指す	(1)就労支援と雇用促進 (2)福祉就労に対する支援	○企業伴走型障害者雇用推進事業の実施(障害保健福祉課) ○官公需の発注促進(障害保健福祉課) ○ジョブサポートセンター事業(産業総務課)
<b>7 情報・コミュニケーション</b> ○障がいの特性に配慮した様々な媒体を活用した情報及びコミュニケーションの保障・バリアフリー化を推進	(1)情報提供の充実 (2)コミュニケーション保障の推進	○ICT(情報通信技術)を活用した遠隔手話通訳サービスの提供(障害保健福祉課) ○視覚障がい者に対する点字等による情報提供(障害保健福祉課) ○わかりやすい印刷物作成の手引き作成(ユニバーサル社会・男女共同参画推進課)
<b>8 社会参加</b> ○外出支援や社会参加の促進、スポーツ・文化活動、余暇支援等により、充実した地域生活を目指す	(1)外出支援 (2)地域活動への参加の促進 (3)スポーツ・文化活動、余暇支援	○施策へ当事者が参画できる仕組みの検討(障害保健福祉課) ○補助犬ふれあい教室の開催(障害保健福祉課) ○特性の違いを超えたスポーツ交流事業の実施(スポーツ振興課)



**第3次浜松市障がい者計画素案（案）第1稿に対する  
浜松市障害者施策推進協議会（平成29年9月7日）の主な意見**

**1 重点施策に関する意見**

素案（案） 【第1稿】	意見	対応
28 ページ 権利擁護	【要望】 成年後見制度の周知が足りていない。利用を増やすために、より一層の周知をお願いしたい。	取組む
28 ページ 権利擁護	【提案】 成年後見制度の市長申立てについて、特に養護者から虐待を受ける人にとって、権利を守るために必要であるが、事務手続きに時間を要するため利用しづらい。市長申立ての事務手続きを簡略化し利用しやすくしてはどうか。	検討する
30 ページ 相談支援	【要望】 基幹相談支援事業所の設置と相談支援事業所の再編を行うということで、相談支援体制の充実に期待している。基幹相談支援事業所の設置による人材育成の強化をお願いしたい。また、委託相談支援事業所の再編における適切な人員配置に配慮してほしい。	取組む
30 ページ 相談支援	【提案】 財産の相続、就労、高齢者、障がいのある人や医療等、福祉に関する相談が全てできる相談体制が必要ではないか。	今後の参考
30 ページ 相談支援	【要望】 様々な相談に対応できるCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が、現在7区に配置されているが、周知が不足している。計画書に記載してほしい。	記載する <u>第2稿</u> <u>56 ページ</u>
30 ページ 相談支援	【質問】 基幹相談支援事業所のバックアップ対象として、計画相談の事業所は含まないのか。	含む
30 ページ 相談支援	【提案】 基幹相談支援事業所の運営について、一つの民間事業所が全ての委託相談支援事業所や計画相談の事業所を監督するのは難しい。公的な機関、例えば社会福祉協議会に担ってもらえるとよい。さらに、地域の複数の事業所から経験豊富な相談支援専門員に加わってもらい、行政と民間が一体となり、地域全体の状況が分かる基幹相談支援事業所になると上手く機能するのではないかと。	検討する

素案（案） 【第1稿】	意見	対応
30 ページ 相談支援	【要望】基幹相談支援事業所には、委託相談支援事業所の過大な業務量や対応する人員の不足等、事業所の抱える問題をしっかり拾い上げ、適切な運営ができるよう指導・助言していただきたい。	取組む
30 ページ 相談支援	【要望】委託相談支援事業所は、地域の細かい実情を知る民生委員・児童委員との連携やバックアップを行う必要がある。相談支援体制のイメージ図に追加してもらえるとよい。また、要保護児童への支援の仕組みづくりも必要である。	検討する
32 ページ 地域移行	【提案】地域移行のためのグループホームの整備について、地域移行の需要調査はしているか。新たに整備することは多くの費用がかかるため、空き家等を活用するのはどうか。	検討する
33 ページ 防災対策	【提案】災害時に福祉避難所で生活できず、やむを得ず在宅で生活（避難）する障がいのある人に対する支援について、考える必要があるのではないか。	検討する
33 ページ 防災対策	【要望】災害時避難行動要支援者名簿の活用に関する記述について「名簿を支援者に提供し、個別計画の作成を依頼します。」という終わり方になっているが、依頼するだけでは足りない。その後の支援を踏まえて「地域での支援につなげていきます。」という言葉に変えていただきたい。	修正する 第2稿 34 ページ
34 ページ 防災対策	【提案】災害時における自助・共助・公助の考え方について、障がいのある人の場合、自助というのは難しく、自助・共助・公助を並列に考えるのは厳しいのではないか。イメージ図の変更をしたらどうか。	修正する 第2稿 35 ページ

## 2 分野別施策に関する意見

素案（案） 【第1稿】	意見	対応
59 ページ 保健・医療	【質問】小中学校における医療的ケアが必要な児童の数を教えてほしい。	回答済 小学校1名 中学校1名
66 ページ 生活環境	【提案】あんしん情報キットの内容について、お薬手帳を活用してはどうか。	今後の参考

素案(案) 【第1稿】	意見	対応
69 ページ 療育・教育	【提案】幼稚園や保育園におけるインクルーシブ教育の取り組みの推進について、項目立てしてはどうか。	検討する
73 ページ 療育・教育	【提案】放課後等デイサービスについて、事業所数は増えているが、支援の質が低い事業所がある。適切な運営に向けた指導が必要である。	取組む
73 ページ 療育・教育	【提案】被虐待児のように支援が必要な子どもをサービスの利用につなげる仕組みが必要である。	検討する
85 ページ 社会参加	【要望】障がい者スポーツのイベントについて、広報・宣伝を強化してほしい。また、障がいの種別によって楽しめる種目は異なるため、種目の選定時に考慮していただければ、参加者がさらに増えるのではないか。	取組む

### 3 その他の意見

素案(案) 【第1稿】	意見	対応
その他	【提案】複合的に困難な問題への対応や地域共生社会に向けた具体的な取り組みの記載が必要ではないか。	記載する 第2稿 54 ページ 60 ページ